広報しんざ

新座地区敬老会を実施

平成二十七年九月二十日（日曜日）に恒例の新座地区敬老会が実施されました。前日までの雨続きの天候とは打って変って敬老会日和となり、多くの皆様がのんびりとコミュニティーセンターに徒歩でお出でになられました。今年の敬老会は昨年より少ない七十名の参加者となりました。十日町市内では今年は百歳以上のお年寄りが六十六名おいでになられるとのことです。さらに本年百歳をむかえられた方は二十九名とのことです。また、新座地区には九十歳以上の方が三十六名いらっしゃるとのことです。今回は来賓として市民福祉部長の大津氏、市議の庭野政義氏、大慶院住職の中川玄祐氏、公民館長の越井範行氏、南叡新会長の中島幸雄氏、東叡新会長の柳邦男氏、民生委員の大島和弘氏、越村斉氏が出席され盛大に挙行されました。皆さん昨年以上に、賑やかに最高の笑顔で会が進み、昨年に続き九十五歳の越村新次様から「天神囃子」をご披露いただきました。また、恒例の抽選会では二区の庭野たま様がなんと二年連続の「市長賞」という快挙を達成されました。

日本全体に高齢化が進むと言われていますが、その皆様が頑張ったからこそ今の日本があります。新座地域がありますお年寄りが益々健康に元気に活動できますよう、地域で守りたいものです。

今回の敬老会開催にあたり、事前から会議を重ね準備をしていただきました、振興会役員の皆様、実行委員の皆様、御苦労様でした。特にご婦人の皆様は当日のお年寄りの御接待に大奮闘していただきました。「疲れはしましたがお年寄りの笑顔が見れたことは何より」と心暖かなお言葉をいただきました。ありがとうございました。

【１月・２月の行事予定】
１月１日（金）　賀詞交歓会【午前11時より】
　２日（土）　第37回新雪ジョギングマラソン大会
　10日（日）　〃焼き（8：30新座コミュニティーセンター）
　11日（月）　〃　（10：00大慶院）
２月19日（金）～21日（日）
　白い愛の祭典 第67回十日町雪まつり

しんざ駅前盆踊り大会を八月十四日に行いました。当日は朝からぐずついたお天気で、盆踊りの中止も検討されていましたが、恒例である真福寺盆踊りの中止が決定していたので、「駅前の盆踊りだけでもなんとかやりたい。」そんな思いが天まで届いたのか、午後三時頃より青空が顔を出し、何とか開催にこぎつけました。午前中の雨の影響で人があまり来ないのではとの多少の不安もありましたが、開始早々からたくさんの人たちに足を運んでもらい、大盛況となりました。今後も駅前盆踊り大会を宜しくお願いいたします。

平成二十七年度 新座地区防災訓練

十月十一日（日）早朝に防災訓練が行われました。防災委員の指示で一次避難所に参集し安否確認し、各地区の指定避難所に移動しました。（市の洪水ハザードマップではコミュニティーセンターは土石流の危険区域内になっています）今年はコミュニティーセンターにて「ＮＰＯ法人セーフティーネットぼうさい」及び「消防団」の指導による消火訓練に加えて、初めて水防訓練を行いました。土のう作りの講習を受け、みんなで協力し二段二十列ほどの規模で敷設しました。

「ぼうさい」の方もこの規模は初めてとのことでした。振興会で耐久性のある土のう袋を購入し、各区に百枚程度配布していますので、各組内で共有下さい。

一月十一日(月)は大慶院のﾒ焼きです。

初めまして、しめ焼きの会です。大慶院しめ焼きについて少し話を、させてもらいます。しめ焼きの会は、慶邑会が二五年間続けたしめ焼きを引き継いだ会です。青年会ＯＢを中心とした二十人位の人達で構成し『「地域の和」、「地域のコミュニケーション」を大切に』をモットーに活動して今年で三年目になります。お酒、トン汁、甘酒などを無料で提供し、地域の人達に大変喜ばれております。又、新年の顔合わせにも一役買っています。二区～四区の方々もぜひ、いらして見て下さい。二八年度のしめ焼きの予定は一月十一日(月曜日)午前十時開始予定です。

宜しくお願いします。

代表　富井治雄

世田谷交流事業に参加しました。

十一月八日（日曜日）第十回世田谷二四六ハーフマラソン大会に、豚汁をふるまいに行ってきました。新座地区振興会の後援を得て、新雪ジョギングマラソン大会実行委員会としての事業です。

一行は前日土曜日に豚汁具材下準備、事前用具準備をし、午前二時にチャーターした森宮交通のバスで総勢十三名が乗り込み、一路世田谷に向かいました。午前六時には世田谷オリンピック公園に到着し、全員で開店準備、あいにくの雨模様での出店となりましたが、それぞれが手慣れたもので短時間に準備完了しました。早朝の散歩する都民も多く、午前七時ころには興味を示すお客さんが、ちらほらとお出でになりました。採りたて地元野菜、がんもどき、新米コシヒカリ、なめこの販売と並行して、豚汁の販売をしました。

今回は関東在住の応援隊として新座の若い衆が四名参加し、パンフレット配布、販売手伝いを元気にやってくれました。特に『特製具沢山豚汁』約六百食は午前中に完売する盛況ぶりでした。

また招待選手として、新座の村山亨さんがハーフに、越井範行さんが五キロに参加し、越井さんは「健康マラソン部門別五キロ男子」で見事二位となりました。おめでとうございます。

一行は撤収作業完了後、午後三時に世田谷を出発し八時に新座コミュニティーセンターに到着しました。相当な強行日程での一日でしたが、十日町そして新座を大いにアピールできたのではないかと思います。

新座地区レクリエーションフェスティバル

十一月二十九日(日曜日)に十日町中学校体育館にて『新座地区レクリエーションフェスティバル』を実施しました。新座体協主催、新座地区振興会後援での開催です。地域内の若者？が集合し、各区対抗の変則リーグ戦にて戦いました。結果は二区Aチームが優勝、二位七丁目三和町Bチーム、三位一区Aチームでした。好プレー、珍プレーで体と腹筋を鍛えた一日でした。参加した選手の皆さんお疲れ様でした。

第二回しんざ岡入り秋祭り花火大会

第二回しんざ岡入り秋まつり花火大会を成功裏の内に終えることができました。花火を打ち上げていただいた皆様、ご協力ご支援をいただいた新座・七和地区後援会、各青年会、ＯＤＦ４Ｃ、消防団、交通安全協会、公民館新座分館、新座第四区の皆様には実行委員会として心から御礼と感謝申し上げます。ありがとうございました。

おかげさまで今回は昨年よりも数多くの花火を打ち上げることができました。二回目の花火の募集に「特号」を入れて、変化と豪華さを演出しました。結果は六十三発となりましたが、三号から十号までの六十二発とフィナーレにスターマインを打ち上げることができ、あの時の感動が今でも胸に残っています。

十月十七日（土）という寒気が身に浸みる夜間に四百名を超える多くの住民の方々から会場においでいただきました。地域の皆様を中心に身近で花火を鑑賞していただいたことは大変うれしく思っております。実行委員のアイデアで、道の両側にミニ灯篭を置き、観客の安全と雰囲気作りを両立させたことなど優れた取り組みもできたと思っています。

新座地区住民の幸福と地域の活性化・発展を願って始めたこの花火大会を、来年第三回を目指して取り組んで行ければ良いと考えています。地域の皆様の絶大なるご協力とご理解をどうぞよろしくお願いいたします。

しんざ岡入り秋まつり
花火大会実行委員長
重野　健一

落しものです。心当たりの方いませんか？

『しんざ岡入り秋祭り花火大会』の時に本部テント近くに上記写真のものが落ちておりました。

お子様の髪飾りかと思います。心当たりの方は保坂（七五七―一三一二）まで連絡をお願いいたします。

【編集後記】

本年も残すところあとわずかとなりました。暑くなったり、寒くなったりと異常気象の影響が多かった年でした。とは言うものの間違いなく冬将軍が目の前に控えています。体調管理を十二分にし風邪をひかないようにこの冬をのりこえましょう。近くでは雪降り目前にして芝桜が咲いていました。